

宮城県観光復興対策実施計画 平成28年度評価調書

別紙1

都道府県名	宮城県	計画に包摂される市町村	塩竈市, 白石市, 登米市, 栗原市, 東松島市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 丸森町, 亘理町, 松島町		
計画期間	平成28年度～平成30年度	評価責任者	経済商工観光部アジアプロモーション課長 西村 一慶		
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数	19万7千人	24万8千人	31万4千人	
指標②	外国人旅行消費額	66.8億円	84.3億円	106億円	

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況		宮城県の外国人延べ宿泊者数の増加(H27 16万1千人 → H28 17万5千人) 観光入込客数の増加。(H27 6,066万人→H28 6,084万人【宮城県観光課 調査】)				
2 定量的指標の達成状況	指標① 外国人延べ宿泊者数	目標値	19万7千人	目標値の実現状況に関する評価	震災以降、観光復興を目指して取り組んできたインバウンド事業の方向性を継承しH28年度は誘客の取組を実施したが、外国人延べ宿泊者数については目標値には届かなかった。インバウンド急増に向けて、さらに効果的な事業展開を図るため、インバウンドの現場に精通し活躍されている関係団体等で構成する「仙台・宮城インバウンド推進協議会」を立ち上げ、意見交換を行い、H29年度以降に実施する事業に反映している。	
		実績値	17万5千人			
	指標② 外国人旅行消費額	目標値	66.8億円	目標値の実現状況に関する評価		外国人旅行消費額についても目標値には届かなかった。来年度以降は、観光資源の発掘・磨き上げや受入環境整備の取組を強化し、地域内消費額のさらなる増大を図る。
		実績値	52.0億円			
3 事業の進捗状況	予定通り事業を完了したが、各目標値の達成には至らなかった。					
4 評価方法	仙台・宮城インバウンド推進協議会による。					
5 中間評価の公表方法	県のホームページにて公表する。					
6 計画全体の総合評価	本観光復興対策実施計画では、東北観光復興対策交付金を活用して対象市場の特徴や風評被害の状況などを踏まえた海外市場に向けたプロモーション・情報発信を行うとともに、受入体制整備事業を一体的に進めているが、H28年は外国人延べ宿泊者数の大幅増とまでは至らなかった。H32年までに本県の外国人宿泊者数を50万人泊とする目標に向けて本観光復興対策実施計画に基づき誘客拡大につながる事業を着実に推進していきたい。					
7 今後の方針等	今後更なる外国人宿泊者数の拡大のため、WI-FIや多言語サインなど外国人観光客が快適に周遊できる環境の整備を推進するとともに、宮城オルレなど体験型観光コンテンツの充実や地域周遊ルートの開発など滞在期間の長期化を推進する取組を一層強化する。また、本県観光の認知度拡大のため、仙台空港に就航する国際線の拡充や首都圏や北海道からの立体観光の推進を念頭に東北各県や仙台市との連携による広域的なプロモーション・情報発信を強化し認知度向上に努める。					